



平成21年度水道技術者ブロック別研修会（札幌市：6月2日～3日、青森市：6月4日～5日、前橋市：6月9日～10日、新潟市：6月11日～12日、宝塚市：6月16日～17日、広島市：6月18日～19日、佐賀市：6月25日～26日）

水道の維持管理に万全を期することを目的に、全国の水道関係技術者約590名の参加を得て「水道概論」、「水道維持管理」、「水質管理」、特別講演「実務に生かす上水道の事故事例集－事故防止と技術の継承に向けて－」について研修を実施した。

平成21年度浄水場等設備技術実務研修会（第1回：6月2日～5日、第2回：7月7日～10日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

平成21年度水道事業事務研修会（経営部門、Aコース）（6月9日～12日）

正会員及び賛助会員の事務職員（水道歴概ね3年未満）の方々67名の方々の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「予算及び決算・演習」、「水道料金・演習」、「経営分析・演習」、「水道事業における公費負担のあり方」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

第3回 ISO/TC224上水道国内対策委員会（6月16日）

前回委員会及び第3回連絡調整小委員会の議事録を確認し、議事に入った。ワーキンググループ（WG）6（資産管理について）メンバーより4月に開催されたAHG2会議の内容報告と7月のバンクーバー会議についての報告がされた。また、WG7（危機管理について）メンバーより5月に開催されたカナダのバンフでの会議内容及び10月のWG7東京会議開催が報告された。

WG5では、ISO24510等規格が世界中でどのように活用されているかの調査をすることとなり、12月までにアンケート調査をすることが報告された。

なお、当委員会についての詳細は本誌に掲載される予定なので参考にされたい。

平成21年度水道事業事務研修会（労務部門）（6月17日～19日）

正会員の事務職員の方々39名の参加を得て、「水道事業の現状と課題」、「最近の労働判例」、「地方公務員と公務員の責務」、「管理・監督者のあり方」、「地方公営企業の労使関係」、「地

方公営企業職員の労務管理]、「人事制度と再任用」について、主に労務の実務を中心とした研修会を実施した。

第877回会誌編集委員会（6月19日 於：東京都水道局金町浄水場）

東京都水道局金町浄水場の取水施設築造工事などを視察し、その後、同浄水場会議室にて本誌7月号、8月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。



第37回水道 GLP 認定委員会（6月23日）

浜松市上下水道部の水道 GLP 認定について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。また、福山市水道局工務部水質管理センター（認定番号：JWWA-GLP027）のサーベイランス結果について審議し、水道 GLP 認定維持を決定した。

平成21年度漏水防止講座（第1回：6月24日～26日）

水道事業及び賛助会員の漏水防止に従事する技術職員の方々88名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題、これからの漏水防止」、「漏水防止作業」、「漏水探查技術」について講義があり、第3日目には、漏水防止関連機器を使つての現地研修を行った。

第149回水道統計編纂専門委員会（7月3日）

「水道統計の経年分析（平成19年度）」について上程し、各委員より担当箇所についての説明があり、審議の後、ほぼ原案のとおり了承された。



第633回抄録委員会（7月3日）

本誌10月号、11月号に掲載する外国文献の抄録内容及び海外文献目録の和文題名について審議した。



平成21年度水道事業事務研修会（経営部門、Bコース）（7月6日～10日）

正会員及び賛助会員の事務職員（水道歴概ね3年以上）の方々約58名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「予算及び決算・演習」、「水道料金・演習」、「経営分析・演習」、「水道事業における公費負担のあり方」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

また、研修会最終日にグループ別のディスカッションが行われ、活発な情報交換が行われた。

第163回工務常設調査委員会（7月7日 於：千代田区）

水道工事標準仕様書と指定給水装置工事事業者研修テキストを改訂することについて決定した。また、「水道の安全保障に関する検討会」等の報告、「水道施設耐震工法指針・解説（2009年版）」の発刊と説明会等今後の予定などについて報告を行い。それぞれ意見交換を行った。



第62回中小規模水道問題協議会（7月13日）

はじめに、議題として座長・副座長の選任を行い、座長に倉吉市 景山局長、副座長に網走市 関谷部長を選任した。続いて、「業務の一部民間委託」、「検針業務の包括委託」、「直結給水における浄水器等の設置」、「配水管布設工事を行う際の水質検査」、「賃貸住宅における水道料金徴収」、「簡易水道事業における地方公営企業繰出金」についてそれぞれ情報交換を行った。その後、事務局から「地震等緊急時対応の手引き」「地下水利用専用水道等に係る水道料金の考え方」、「水道事業における広報マニュアル」、「水道事業の広域化と公民連携の推進に向けて」について報告を行った。



水道協会雑誌平成21年7月号掲載記事の訂正について

本誌平成21年7月号に掲載しました記事に一部誤りがございました。
ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

<訂正>

「報文」MF膜-NF/RO膜プロセスに及ぼす前処理凝集剤の影響

6頁 表-5 凝集剤注入率

<正> 5 mg as FeCl₃ /L (0.653mg as Fe/L)

<誤> 5 mg as FeCl₃ /L (0.172mg as Fe/L)

<訂正>

会員消息

173頁 会員名：常滑市

<正> 主任者：部長 片岡 覚

<誤> 主任者：課長 片岡 覚